



世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされている中、これまでになく恐怖と不安に満ちた情勢が続いてしまっています。私たちには現実を見つめ、冷静に行動していますが、暗中模索ではあります。何年か分目身で考えなくてはならな

会長挨拶

2020年度の活動について

教育後援会長 山本正美

状況になりました。この海大学を安心・安全に教育後援会が責任に任じています。山本正美と申します。2020年度の評議員は、コロナウイルスによる緊急事態宣言や外出自粛などの影響により、やむを得ず会議決法では、市議会決法でも、議決法を提出した方法でお願いいたします。役員一同も顔を合わせることが難しい中、はつきりとした教育後援会の運営に努め、協力して活動してまいります。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

本会としては、職員と保護者の距離を近づけたいという思いで、新事業として「地区教育後援会」を例年通り開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。また、地区教育後援会を開催いたします。

2020年度事業計画

I. 教育後援会主体事業

- A-1 地区教育後援会の実施
- A-2 就職情報会の実施
- A-3 教育後援会報「海風」の発行
- A-4 教育後援会奨学金
- A-5 学生奨学金情報の提供
- A-6 卒業アルバム制作
- A-7 教育後援会ホームページの更新
- A-8 学生の奨学
- A-9 教育後援会学生表彰の実施

- B-5 留学生協会主催行事の支援
- B-6 スポーツ活動の支援
- B-7 契約学生利用の支援
- B-8 卒業パーティの支援
- B-9 文化活動の支援
- B-10 ボランティア活動の支援

II. 大学実施事業支援

- C-1 学生海外学習研修派遣の支援
- C-2 就職対策の支援
- C-3 大学施設設備等の支援
- C-4 学生奨学の支援
- C-5 少人数教育の支援
- C-6 学修設備の支援
- C-7 課外教育活動団体顧問の支援
- C-8 課外教育活動団体指導者の支援
- C-9 体育会活動の支援

II. 学生の自主的諸活動支援

- B-1 課外教育活動団体の支援
- B-2 学園祭の支援
- B-3 サマー・キャンプの支援
- B-4 新入生歓迎会の支援

時々の状況により適切な対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。

時々の状況により適切な対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。

時々の状況により適切な対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。

時々の状況により適切な対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。

時々の状況により適切な対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。対応を講じてまいります。

2019年度一般会計決算

(自)2019年4月1日 (至)2020年3月31日

単位:円

収入の部			
科 目	2019年度予算額(a)	2019年度実績額(b)	差異(a-b)
会 費	65,000,000	67,000,000	△ 2,000,000
当年収入 合計	65,000,000	67,000,000	△ 2,000,000
繰越金	17,736,673	17,736,673	0
収入の部 合計	82,736,673	84,736,673	△ 2,000,000

支出の部			
科 目	2019年度予算額(a)	2019年度実績額(b)	差異(a-b)
相対的経費			
会員相対費	400,000	286,000	113,800
広報相対費	16,000,000	16,594,956	△ 594,956
広報費	4,800,000	4,304,473	495,527
創立35周年記念事業費	0	0	0
小 計	21,200,000	21,185,429	14,371
全学行事費	20,050,000	10,711,008	9,338,992
部活動等協力費	10,800,000	9,144,226	1,655,774
教育補助費	5,980,000	4,179,323	1,800,677
卒業アルバム制作費	5,000,000	4,371,000	629,000
就職対策費	1,000,000	377,472	622,528
留学研修費	3,500,000	1,696,000	1,804,000
小 計	46,330,000	30,479,029	15,850,971
事業費計	67,530,000	51,664,458	15,865,542
評議員会議	1,300,000	1,169,750	130,250
役員会・常任役員会	1,500,000	796,510	703,490
その他会議	300,000	248,098	51,902
会議費計	3,100,000	2,214,358	885,642
通信費	100,000	31,852	68,148
電平費	250,000	88,425	161,575
旅費交通費	30,000	2,000	28,000
印写事務費	600,000	412,312	187,688
業務委託費	8,000,000	7,115,094	884,906
渉外費	300,000	112,500	187,500
消耗品費	400,000	219,711	180,289
事務費	500,000	254,540	245,460
小 計	10,180,000	8,236,434	1,943,566
什器備品費	500,000	0	500,000
小 計	500,000	0	500,000
管理費計	10,680,000	8,236,434	2,443,566
予備費	1,000,000	500,000	500,000
当年支出 合計	82,310,000	62,615,450	19,694,550
次年度繰越金	426,673	22,181,223	△ 21,754,550
支出の部 合計	82,736,673	84,796,673	△ 2,060,000

2020年度一般会計予算

(自)2020年4月1日 (至)2021年3月31日

単位:円

収入の部			
科 目	2020年度予算額(a)	2019年度実績額(b)	差異(a-b)
会 費	67,000,000	65,000,000	2,000,000
雑収入	1,589,211	0	1,589,211
特別会計繰入金より	30,000,000	0	30,000,000
当年収入 合計	98,589,211	65,000,000	33,589,211
繰越金	22,181,223	17,736,673	4,444,550
収入の部 合計	120,770,434	82,736,673	38,033,761

支出の部			
科 目	2020年度予算額(a)	2019年度実績額(b)	差異(a-b)
相対的経費			
会員相対費	400,000	400,000	0
広報相対費	18,000,000	16,000,000	2,000,000
広報費	4,800,000	4,800,000	0
小 計	23,200,000	21,200,000	2,000,000
全学行事費	20,050,000	20,050,000	△ 3,050,000
部活動等協力費	10,800,000	10,800,000	0
教育補助費	5,980,000	5,980,000	0
卒業アルバム制作費	5,000,000	5,000,000	0
就職対策費	1,000,000	1,000,000	0
留学研修費	3,500,000	3,500,000	0
小 計	43,280,000	46,330,000	△ 3,050,000
事業費計	66,480,000	67,530,000	△ 1,050,000
評議員会議	1,000,000	1,300,000	△ 1,200,000
役員会・常任役員会	1,500,000	1,500,000	0
その他会議	300,000	300,000	0
会議費計	1,900,000	3,100,000	△ 1,200,000
通信費	100,000	100,000	0
電平費	250,000	250,000	0
旅費交通費	30,000	30,000	0
印写事務費	600,000	600,000	0
業務委託費	8,000,000	8,000,000	0
渉外費	300,000	300,000	0
消耗品費	400,000	400,000	0
事務費	500,000	500,000	0
小 計	10,180,000	10,180,000	0
什器備品費	500,000	500,000	0
小 計	500,000	500,000	0
管理費計	10,680,000	10,680,000	0
会費返金	37,000,000	0	37,000,000
返金に係る経理費	0	0	0
緊急給付事業費計	37,000,000	0	37,000,000
予備費	1,000,000	1,000,000	0
当年支出 合計	117,060,000	82,310,000	34,750,000
次年度繰越金	3,710,434	426,673	3,283,761
支出の部 合計	120,770,434	82,736,673	38,033,761



明海大学浦安キャンパス
教育後援会の皆様にお
かたしては、誠にありが
たうお礼です。

かたしては、誠にありが
たうお礼です。

かたしては、誠にありが
たうお礼です。

かたしては、誠にありが
たうお礼です。

かたしては、誠にありが
たうお礼です。

学長挨拶

新しい生活様式での 大学教育

学長 安井利一

今年、
開学50周年に当たり、ご
案内いたします。

今年、
開学50周年に当たり、ご
案内いたします。

今年、
開学50周年に当たり、ご
案内いたします。

今年、
開学50周年に当たり、ご
案内いたします。

し お か ぜ

・2019年度 学生表彰・ 個人18人と2団体の功績を称える

例年、学位記授与式後に教育後援会が行っている「学生表彰」。表彰式は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

学生表彰は、課外活動や体育会などで他の学生に大きな目標や影響となる成果を収めた個人・団体や、日本または関東地区規模の大会等で優秀な成績を収め、大学の名声を高めるに貢献した個人・団体、学友会やボランティア活動などで顕著な貢献をした個人・団体を表彰するもの。2019年度は個人18人と2団体の活動が認められた。

2019年度浦安キャンパス教育後援会学生表彰一覧（表彰順）

表彰対象① 個人		内 容
氏名（学科・年次）		
池田 義友（英米語・4年）		現役で東京都教育採用試験合格（中・高英語）
佐藤 みゆき（英米語・4年）		現役で千葉県教育採用試験合格（中・高英語）
初見 侑（英米語・4年）		2017年2月外務省後援第4回太平洋文化芸術祭（主催：太平洋文化芸術協会）第1回学生・生徒・児童フラコンクールのソロ部門第2位
倉本 健典（中国語・1年）		2019年10月第10回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会「閉読の部」で千葉県日語社長賞を受賞、全国大会代表に選出。
花井 静亜（経済・4年）		2019年度全日本学生ヨット個人選手権大会4位
配島 三弥（不動産・3年）		不動産鑑定士試験に在学中に合格。その功績は、不動産業界紙に取り上げられ、大学の名声を高めた。
杉方 尚純（不動産・3年）		国家資格の土地家屋調査士試験に合格し、明海大学の名声を高めた。
表彰対象 団体		
体育会ヨット部		・2019年度関東学生女子ヨット春季選手権大会総合順位：5位（470級 4位、スニア級 10位） ・2019年度関東学生ヨット春季選手権大会総合順位：第4位（470級 5位、スニア級 5位） ・2019年度全日本学生ヨット選手権大会470級 2位（花井、青木） ・470級 5位（三橋、ラミリス/長瀬）、スニア級 1位（加藤、小岩/秋間） ・2019年度関東学生女子ヨット選手権大会総合順位：2位、470級 2位（花井、ラミリス）、470級 5位（長瀬、青木）、スニア級 2位（加藤、秋間） ・2019年度日経・レインダムカップ第28回全日本学生女子ヨット選手権大会総合順位：第7位、470級 7位（花井、青木）、470級8位（三橋、ラミリス・長瀬）、スニア級 12位（加藤、小岩、秋間） ・2019年度第86回関東学生ヨット秋季大会 兼全日本学生ヨット選手権大会水産部選手権大会：第4位（470級 6位、スニア級 4位） ・2019年度第84回全日本学生ヨット選手権大会総合順位：第10位（470級 8位、スニア級 14位）
		・第55回全日本大学空手道選手権大会 男子団体組手：ベスト16、女子団体組手：ベスト32
		・第62回関東大学空手道選手権大会 男子団体組手：ベスト16、女子団体組手：3位
		・第63回全日本大学空手道選手権大会 男子団体組手2回転倒出
2 表彰対象②		
鈴木 真人（不動産・4年）	ヨット部	
池末 知史（日本語・4年）	サッカー部	
有賀 潮聖（英米語・4年）	女子硬式野球部	
大石 竜也（経済・4年）	陸上競技部	
大石 隼風（経済・4年）	空手道部	
枝横 姫香（日本語・4年）	剣道部	
塩谷 大河（経済・4年）	軽音楽部	
菅原 嘉人（経済・4年）	漫画研究部	
郷田 智子（HT・4年）	ジャズオーケストラ部	
藤 大重（不動産・4年）	留学生連合会会長	
3 表彰対象③ 個人		
高井 裕介（HT・4年）	東日本大震災による被災地（岩手県釜石市）復興支援ボランティア活動に明海大学の代表として積極的に参加し、地域社会に顕著な貢献をした。	

コロナ禍を乗り切るために—— 明海大学のサポートと対応策

緊急事態宣言が発令されてから、学生の安全を第一に、また、精神的にも経済的にも安心して学修できる環境づくりのため明海大学ではさまざまな取り組みを行っている。その主なものを紹介する。

【大学独自のサポート】

■学修継続支援・相談室の設置

授業に関する相談、アルバイトを含めた学生生活全般に関する相談、学費に関する相談のほか、生活様式が変化したことによるストレスや不安など、新型コロナウイルス感染症によるあらゆる相談窓口を一元化することでサポート体制の強化を図る。

■学修環境整備費安全の支給

遠隔授業の受講に必要な機器及び通信環境等の整備、そのほか学修継続に必要な費用の一部を支給するため。

▽給付額 一律5万円

▽対 象 学部・大学院・別科の全学生

■学修継続支援特別授業料減免制度を制定

新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に学修継続が困難になった学生に対して、授業料の学費を減免。2021年度も実施予定。在学生だけでなく、大学進学を検討している受験生も支援する。
▽減免額 授業料の半額または3分の1
▽対 象 学部・大学院・別科の学生。ただし、休学期中の学生、本学の授業料等にかかる学費制度または高等教育の修学支援新制度で授業料の半額相当以上の奨学金を受給している、または授業料の減免を受けている学生は対象外。

■休学期における在籍料の免除

新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な困難からやむを得ず休学しなければならない学生の在籍料を免除する。

▽在籍料（1学期あたり5万円）の納付を免除

▽対 象 学部・大学院の学生

【新たな学修環境を整備】

遠隔授業の実施に向け、既存のWebラーニングシステムから、新システム「manaba」を導入し、より安全な通信環境で授業を受けられるよう体制を整え、浦安キャンパスでは5月25日から遠隔授業を本格スタートさせた。

緊急事態宣言解除後、6月から対面形式の授業を一部再開。まずは入学後ばけ校機会のなかった1年生にオリエンテーションを実施するなど、状況は慎重に見極めながら、段階的に対面授業を再開させ、遠隔授業と併行して実施していく予定となっている。

※状況に基き、遠隔授業または対面授業へ切り替える場合あり



——日々変化する状況に適切に対応し、学修、学生生活に支障が出ないよう、大学では能力をあげて学生の支援を続けていく。

